白川新聞

高志中学校 1年A組
田中 悠翔（田中 悠翔）

漢字研究の第一人者 白川静先生 その生涯にせまる！

白川文字学の室

白川静先生は、1910年4月9日に福井県で生まれた。「目が悪いから注意しなさい」と母親から注意されるほど、読書好きだった。小学校卒業後、大阪で働きながら夜学に通う。職場の法律事務所にあった、漢詩集をはじめとする多くの蔵書に夢中になり、「一生、読書をし続けよう」と決意したのである。

読書を進めるうちに「東洋」という言葉にひかれ始める。中国中代文字を勉強するために、中学校教師を経て立命館大学文学部教授となる。1980年には名誉教授の称号を受ける。

約3000年前の中国の古代文字を、何方の教も写すうちに、文字の成り立ちやつながりを、体で感じ取れるようになる。そして45歳の時、「口」が「くち」ではなく、神への手紙「サイ」で山でも移せる」と唱えた。「一歩ずつ運べば、毎日同じペースで書き続け、13年半かけて3冊の字書を完成させた。ページ数の合計は、3000ページを超えた。2004年、94歳にして文化勲章を受賞。長年の漢字研究、東アジア漢字文化圏の比較研究に対する成果が高く評価されたのである。

2005年には、福井県立図書館に、白川先生の研究成果を紹介する「白川文字学の室」がオープン。同年、福井市名誉市民となった。

2006年10月30日享年96歳で逝去。

漢字研究に長年強い意欲で取り組まれ、大きな功績を残した白川先生は、福井の宝である。

「漢字」を書き、多くの読者を得た。「詩経」と「万葉集」についての一般書も書き下ろし、当初の目標を達成した後、73歳の時には、それまでの研究のまとめとして、字書作りに取り組み始めた。

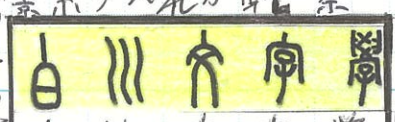
白川文字学とは、日本の漢字学者・白川静先生が研究した、漢字の成り立ちや意味の読み解き方のことである。

通常、学校で習う漢字の説明は、「形」やリで神に仕える人」や「神の意見を聞く儀式」の様子から「使い方」に注目するが、白川文字学は3000年以上前の古代中国の甲骨文や金文を分析し、中国の古代文の生活や意識にまで踏み込んで「漢字」を「つながり」をもって学ぶことが出来る。

「漢字はただの記号ではなく、古代の人々の信仰や祭り、占いなどと深く関って作られた」という白川先生の成り立ちの研究である。

例えば、「神」の成り立ちは、「祭」という器に入れた「サイ」を置いて、神への祈りを捧げている様子を表している。

白川文字学は、「字源」「字統」「字訓」「字通」の大字書を含めた深い意味づけがされている。



〈用語集〉

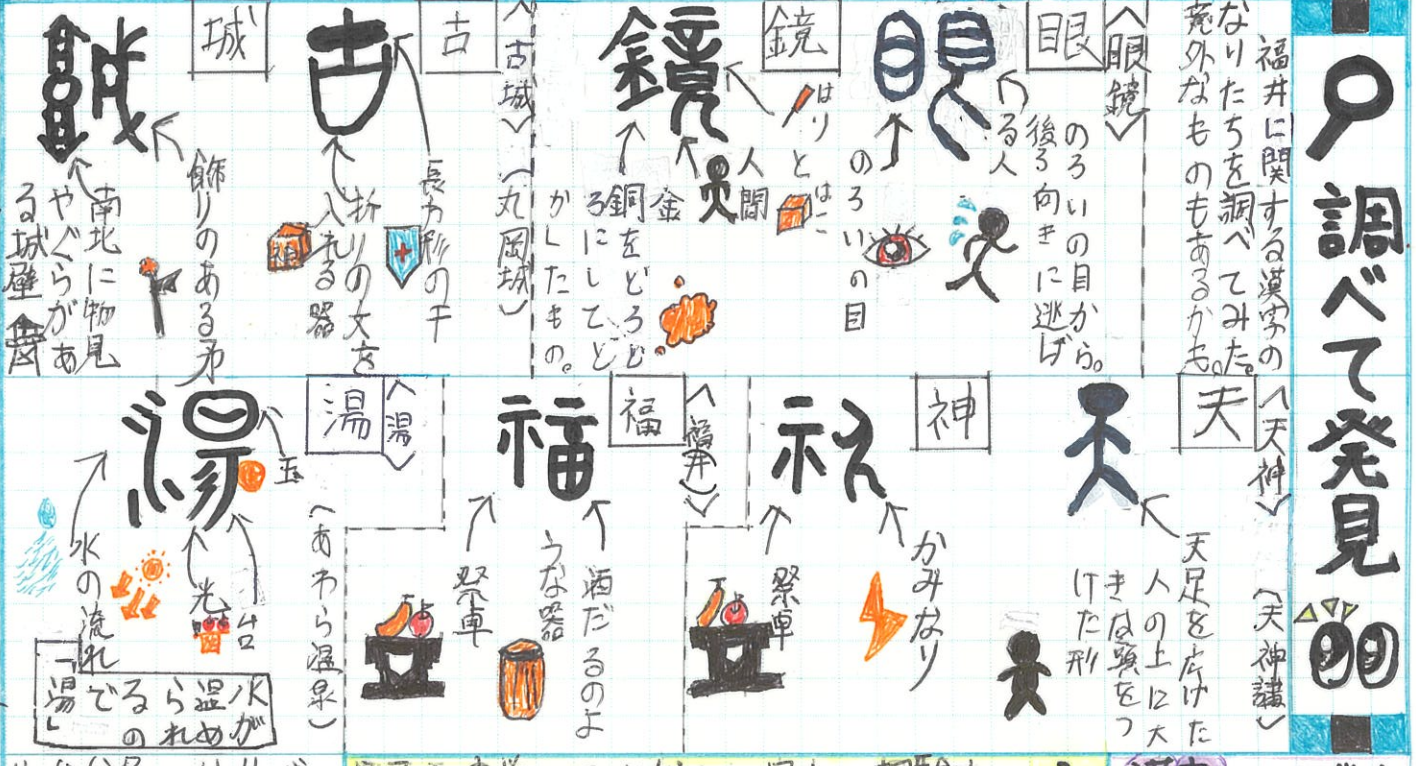
・甲骨文字（こうこつもじ）：漢字の書体の一つで、現在知られている最古の文字。紀元前14世紀～紀元前10世紀ごろ（殷王朝の時代）に中国で使われた。

・金文（きんぶん）：中国の古い時代の漢字とされている。

〈金文〉

調べて発見

福井に関する漢字の成り立ちを調べてみた。意外なものもあるかも。



インタビュー

「白川文字学の室」の方に答えていただきました。ありがとうございました。

Q なぜここにこの施設を作ったのですか？

A 文化勲章を受賞された白川先生が、どんな研究をされていたのかを、広く福井県の人達に知ってほしい、という思いで、多くの人が訪れる図書館にこの部屋ができました。

Q 白川文字学の魅力は何だと思いますか？

A 白川先生は、大人の成り立ちに誤りがあるとの事を発見した唯一の漢字研究者です。そんな先生の業績の中でも「サイ」の発見」がすごいと思います。（必ず詳細は白川静先生の生涯の記事中に記載）

Q 白川先生にお会いした事はありますか？あれば、どんな人物でしたか？

A ありません！この部屋を作った時にお会いしたのですが、ぱなしで2時間立ち、面前にいました。ありがとうございました。

Q 白川文字学の室の魅力は何だと思いますか？

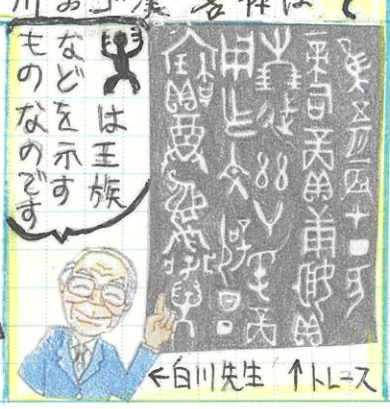
A この様に、漢字を調べてみると、面白いなりたちがある事が分かりました。

みなさんも、自分の名前を調べてみてはいかがでしょう。知らなかった漢字の意味、なりたちを知れますよ。

イベント情報

白川文字学の室では文字のトレース体験や、古代文字での名詞作りが常時出来る。また、右に記載の漢字クイズや、漢字スゴロクなども体験できる。そして不定期で白川文字学の特別講座や、ゲーム作りなども開催されている。

（場合により変動する）楽しく白川文字学を学べるのでぜひ行ってみてほしい。



漢字クイズに挑戦

〈季節の漢字 8-9月〉

① 寒蝉鳴（かんぜんめい）　立秋(8/13-17頃)
② 蒙□升降（ふかう●●まとう）　立秋(8/18-22頃)
③ 草□白（くさの●●しろし）　白露(9/8-12頃)
④ 鶺鴒鳴（□□□□めい）　白露(9/13-17頃)

編集後記

私達が日常的に使っている「漢字」。今回この新聞を書いてみて漢字が、思っているよりも奥が深いということをわかりました。

また、白川先生のように一つのことを深くすはらしいことだとあらためて思いました。

調べてみると、無料で楽しみながら学べる施設が身近にたくさんあることがわかりました。みなさんもこれらを上手に活用し、福井県のことをもっと深く知れるといいです。

参照 福井県立図書館 白川文字学の室パンフレット、クイズ、白川文字学ニュースレター

漢字クイズ答え ①ひぐらし ②露 ③露 ④せきれい

県立図書館の入口にある漢字クイズを一部紹介。図書館で、クイズを解き、白川文字学の室に持っていこう。全問正解ですてきな景品がもらえるよ。

福井県立図書館 白川文字学の室
令和七年八月九日